

豊かな体験活動推進事業

平成22年度予算額（案） 13,093 百万円の内数（新規）

- ・ 児童の豊かな人間性や社会性を育むためには、自然体験活動をはじめ様々な体験活動を行うことで、命を大切にする心や他人を思いやる心、規範意識等の育成を図ること等が極めて重要である。
- ・ また、一般的に宿泊を伴う体験活動においては3泊4日以上の実験日数を確保することが望ましく、これを宿泊体験の当面のモデル的な期間とすべきとの研究結果も出ている。
- ・ このため、小学校において実施する体験活動のうち、自然の中での集団宿泊活動の日数を、3泊4日以上へと延長する取組を支援することで、3泊4日以上の日数での活動を全国に普及させ、小学校における豊かな体験活動のより充実した展開を推進する。

1. 事業内容

（1）自然宿泊体験事業 ～子ども農山漁村交流プロジェクト～

330校（66地域各5校）

農林水産省、総務省と連携して実施する「子ども農山漁村交流プロジェクト」として、農林水産省が指定するモデル地域等において、前年度から活動日数を延ばして3泊4日以上の実験体験を通じて自然体験活動等を行う小学校の取組に対する補助を行う。

活動の支援や成果の普及により、
体験活動のより充実した展開を推進

（2）体験活動推進協議会

66地域

各都道府県・指定都市において、様々な体験活動を推進していく上での課題や成果について議論を行ったり、好事例の収集、各学校への情報提供や取組の普及を図る協議会を立ち上げる。

2. 補助事業者 都道府県・指定都市。また、間接補助事業として行う場合は市町村。

3. 補助率 1 / 3